

講義

- 担当教官：辻井 正人（つじい まさと）
- 担当教官の連絡先：（研究室）箱崎キャンパス理学部 3 号館 3509 号室 電話 642-2741
（電子メール）tsujii@math.kyushu-u.ac.jp
- 教科書：「複素関数論」クライツィグ 著（培風館）
- 講義についての情報を集めたウェブページを

<http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/~tsujii/Math2B2009.html>

におきます（講義プリントや小テストの問題と解答を掲載します。）

- 講義に用意するもの：教科書，ノート，計算用紙と筆記具．講義プリントを印刷したもの（講義プリントは上のウェブページにおいてあるので各自印刷すること）
- 講義内容：数学 1 B で学んだ複素関数論の基礎をもとに，より発展的な内容（調和関数や等角写像の理論）について講義する．教科書では主に第 5 章である．ただ，教科書ではそれ以外がいくつかの部分に分けて収録されているため，講義との関係が多少複雑になる．そのため，講義プリントを用意して，全体の講義のあらすじを明確にする．また，講義中に教科書との対応については説明する．
- 3 回目以降の講義の最初に 15 分ほどで小テストをする．小テストは原則として採点して次週に返却する．答案の回収と返却を円滑に行うために次のようにする．
 - 座席を固定する（3 回目以降の講義は同じ席に座ること）
 - 小テストの最中に封筒を列ごとに左の席からまわすので採点された自分の答案を受け取る．
 - 一番右側の座席の人は封筒に残っている答案があれば取り出して私に渡す．
 - 小テストが終わったら答案をその封筒に入れて前にまわして，一番左の席の人が私に答案の入った封筒を渡す．

小テストは成績に関係あるテストなので教科書とノートはその間はしまう．点数はつけるがかなりの部分は出席点．小テストの問題は（数値はかえて）期末テストにも出すので小テストで間違えたところはチェックしておくこと．

- 評価は「小テスト 50% + 期末テスト 50%」（割合について多少の変更はあり得る）100 点満点に換算して 60 点で合格．難しい問題は出さない．講義をよく聞いて教科書の練習問題をやり，小テストで理解をチェックすれば十分のハズ．成績はキチンとつける．特別な事情がない限り追試は行わない．
- 授業の欠席・遅刻については 2 回までは成績に影響しないようにする（小テストの点数は悪い方（または欠席）の 2 回を除いて計算する）事情があって 3 回以上欠席する場合のみ，私に連絡してください．